

美術		実技	非常勤講師 澁谷 朋子	
科目カテゴリー	スポーツマネジメントコースの教養選択科目、スポーツトレーナーコースの教養選択科目 柔道整復師コースの教養選択科目 救急救命士コースの教養選択科目	科目ナンバリング	11220128 12220145 13220127	

1. 授業のねらい・概要

優れた絵画、美術作品を鑑賞することにより、芸術的感性のみならず人間性をも豊かにする。

また、絵、文字、文章を実際にかくことにより、表現することの喜び、かいたものを手紙として知人などに送る喜びを体験する。

2. 授業の進め方

講義と実習の二本立てで行う。特に実際に画材（例 花、果物など）を見ながら絵を描き文章を書き添える。1回の授業でハガキ大のサイズの場合1～2枚程度を仕上げる。

なお実習に使う道具としては、青墨、筆（墨用、顔彩用各1本ずつ）、顔彩18色、画仙紙はがき、すずり、筆洗い、梅皿など。

3. 授業計画

1. 私の絵手紙記念日。絵手紙の話と線の練習 （自分の名の一字を書く。）	8. エンピツ、ドローイングペンを使って絵を描く。
2. いつも食べている果物、バナナなどを描いてみる。 （家族の名の一字を書く。）	9. 花をハガキ2枚、ワイドハガキまたは少し大きめの紙に描いてみる。
3. 野菜（例 ピーマン）をハガキいっぱい描いてみる。 （瓦当の“楽”の字を書く。）	10. 有名な画家の絵（棟方志功、ピカソなど）を模写してみる。
4. 春の花（例 ハナミズキなど）を描いてみる。 （多胡碑の一字を書く。）	11. ドクダミの花を描いてみる。
5. 魚（例 メザシ）を描いてみる。 （いろはにほへの模写）	12. アジサイの花を描いてみる。
6. 民芸品、お土産品（例 こけしなど）を描いてみる。 （あいだみつをの文）	13. 印を作り、暑中見舞いを描いてみる。
7. 巻紙大の紙に手紙を描いてみる。（画材は自由）	14. SDGsを意識した絵手紙を描いてみる。（例 ダンボール、かまぼこの板、空箱）
	15. ハガキ以外のもの、石などに絵を描きペーパーウエイトなどとして使用する。

授業計画はあくまで予定で、その時その時での変更がありますのでご承知下さい。

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習・復習は特にないが、授業で使用する画材などは持参することがある。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

試験やレポートは特にないが、製作した絵手紙は手紙としてポストに投函するか提出をする。

6. 授業における学修の到達目標

絵と文字と文章から成り立つ絵手紙をかき、実際にポストに投函、または提出することにより心と心の交流を図る他、文章力の向上も目指し、かく力を育む。（書育）

7. 成績評価の方法・基準

毎回の授業ごとに絵手紙を最低1枚以上仕上げる。（うまいへたは問いません）

1枚以上仕上げると満点とする。（ただし仕上げた絵手紙の講評は毎回必ず受け、ポストに投函する。）

8. テキスト・参考文献

小池邦夫 絵手紙の極意 日本放送出版協会 1999

その他の参考文献は授業時に随時紹介する。

9. 受講上の留意事項

条件は特にありません。「絵手紙をかいてみたい。」というその気持ちだけです。

絵手紙は「へたでいい へたがいい」です。一緒に絵手紙をかいてみませんか。

新しい世界が広がります。

※ 授業内容は、諸事情により変更することがあります。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

上武大学手がき文化研究所所長，上武大学絵手紙ギャラリー&ミュージアム館長，日本絵手紙協会公認講師，及び各種絵手紙講座講師としての経験を活かし講義・演習を行う。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。